

600兆円経済実現に向けた総務省の主な取組

資料5

1. 研究開発によるイノベーションの推進

「ビッグデータ」に基づく「知能」の研究
(例：多言語音声翻訳システム)

+

「脳機能」に基づく「知能」の研究
(例：脳活動を解析して人間の思考を再現)



次世代AI
の研究開発

- ☞ AIの研究開発にあたっては、産学官・関係府省からなる「人工知能技術戦略会議」とも密接に連携。
- ☞ G7において、AIネットワーク時代の社会的課題について、「AI開発原則」に係る国際的な議論の場を提唱。

2. データ利活用による社会変革

IoTによるイノベーション

生活に身近な分野でのデータの利活用

- 「健康医療」「農林水産業」「観光」といった分野の重点化。
- データの利活用に必要となる規制改革の検討・推進。



GDP600兆
円への貢献

対面・書面原則からの転換

マイナンバーカードを用いた子育て支援

- 保育所の申請書などの書類を、マイナンバーカードを用いて、いつでも、どこからでも、提出可能に。
- 「電子私書箱」を通じて、自治体からの予防接種などのプッシュでの案内を可能に。



一億総活躍
社会の実現

3. 教育ICTの推進・IoT人材の育成

「教育クラウド・プラットフォーム」

(いつでも、どこでも、どの端末でも、
自分にあったデジタル教材を利用可能)

+

教育に利用可能なWiFi

(教育拠点での整備を支援)
※ 普及率：約24%

+

プログラミング教育の普及

(体験型の「全国キャラバン」
に対する支援など)

※ IoT時代に求められる技術者の不足を踏まえた、新たな人材（ソフトウェア関連）の育成を支援。